



横浜人形の家

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町18
TEL 045-671-9361 / FAX 045-671-9022
<http://www.doll-museum.jp/>

報道関係者各位
プレスリリース

2017年12月吉日

新春を彩る華やかな舞と 一流の人形遣いが魅せる日本の伝統芸能

横浜人形の家は、2018年1月13日(土)あかいくつ劇場にて、糸あやつり人形一糸座「新春公演」を開催します。新年を祝う「寿三番叟」と「寿獅子」、落語の演目としても知られる「田能久」を、一流の人形遣いが披露します。また、世界でも珍しい日本の糸あやつり人形の仕組みをわかりやすく紹介し、実際に人形を用いて、古くから伝わる日本の伝統芸能を体験していただきます。家族皆で楽しめる日本の伝統芸能に触れていただけます。

【場 所】 横浜人形の家 あかいくつ劇場

【日 時】 2018年1月13日(土)11:00/14:00

【内 容】 「寿三番叟」「寿獅子」「田能久」+ 糸あやつり人形の解説&体験

【キャスト】 出演:糸あやつり人形一糸座

結城一糸 結城民子 結城敬太 金子展尚 根岸まりな他
照明:秋山浩二 音響:佐々木雄介

【料 金】 大人(高校生以上)2,000円/小人(3歳以上~中学生)1,500円
※全席自由 ※3歳未満のお子様はお膝の上での鑑賞は無料
※上記観覧料で横浜人形を家の常設展示もご覧いただけます

【ご予約】 横浜人形の家ホームページ(<http://doll-museum.jp/>)



<公演チラシ>

『寿三番叟』

古くから神事として五穀豊穡(ごこくほうじょう)を祈り、また新年・事始・舞台の安全を祈って開幕前に演じられていた神聖な舞です。糸あやつり人形の大事な動きが多く含まれ、日本の糸あやつり人形ならではの繊細でダイナミックな動きを楽しめます。

『寿獅子』

お正月やお祭りなどのおめでたい時に、魔よけ・悪魔払いとして舞われる獅子の踊りです。

『田能久』

病気の母を見舞うための帰郷途中、旅役者の田能久は人を呑み込むという“うわばみ”と出くわします。田能久を「たぬき」と聞き間違えたうわばみは、「化けてみる」と命じ……。古典落語でも有名な演目を、人形遣いの台詞と義太夫を交え楽しくわかりやすい人形芝居でお見せします。

糸あやつり人形一糸座

2005年、三代目結城一糸によって「江戸糸あやつり人形座」として旗揚げ、15年に「糸あやつり人形一糸座」と改称。結城一糸は、歴史ある伝統糸あやつり人形の一座「結城座」の座長十代目結城孫三郎(故結城雪齋)の三男として1948年に生まれ、5歳で初舞台を踏む。72年、三代目結城一糸を襲名。江戸時代から伝わる古典的な糸あやつり人形芝居の継承者として中樞を担いながら、国内外の前衛的な演出家との共同作業も積極的に進め、斬新な芝居作りを展開する。2003年に結城座から独立し、現一糸座を立ち上げた後も、チェコの糸あやつり人形劇団との合作「ゴーレム」上演など、伝統継承と革新の両面で意欲的な活動を続けている。



<寿三番叟>

<寿獅子>



<田能久>

本件に関する問い合わせなどの連絡先

横浜人形の家 佐久間 まで

TEL 045-671-9361 / FAX 045-671-9022 / E-mail info@doll-museum.jp